

ARTERIOSCLEROSIS



一 幹細胞静脈投与

幹細胞静脈投与の魅力：ホーミング効果

静脈点滴で幹細胞を投与すると、ホーミング効果により損傷細胞に幹細胞が補修に向かいます。

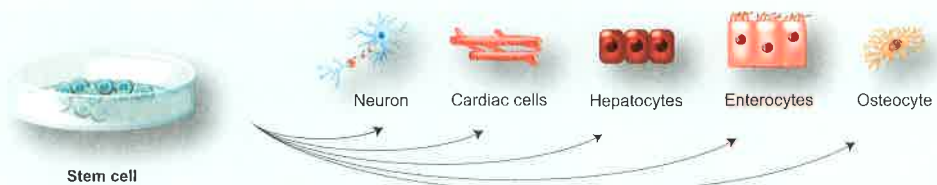
ホーミング効果とは傷ついた細胞から SDF-1/CXCR4 という SOS シグナルが出され、それを探知し、血管を通り組織の修復をします。つまり、静脈点滴で幹細胞を投与することは、ごく自然な身体のメカニズムを正常な状態に戻すことなのです。

一 幹細胞治療の可能性

幹細胞の働きには「自己複製能」と「分化能」の2つの重要な働きを持っており、この働きにより、骨、軟骨、神経、筋肉、血管など様々な細胞に分化します。

また、異常をきたした免疫を調整、正常化し、暴走した炎症をコントロールする機能もあります。

幹細胞には、動脈硬化や心筋梗塞、神経変性疾患など様々な疾患への治療として応用され、症状を改善することが期待されます。





一 治療までの流れ

※ 治療期間は、およそ3～6ヶ月ほどです。

来院 一日目：

専門医によるカウンセリング



血液検査（感染症検査）



耳後から少量の脂肪組織を採取 ※日帰り



細胞培養（約1ヶ月）



来院 二日目：

静脈へ点滴投与 ※1時間程度



経過観察・アフターフォロー